

情報公開内容

課題名：気管径に関連する因子の検討

本研究の目的：

全身麻酔の際に、気管内に気管チューブを挿入し人工呼吸を行う事がありますが、気管内挿管チューブのサイズは経験的に選択されることが多いのが現状です。最適な気管チューブのサイズを予め予測する研究は十分な検討がされていません。

今回の研究は、CT画像をもとに気管径を測定し、さらに患者さんの身長や体重などの要因から気管径に関連する因子の調査を行うものです。

本研究の対象・方法：

平成20年4月1日から平成26年10月1日までの期間に、当院で手術を施行した患者さんのうち胸部のCT検査を受けた患者さんのCT画像データを調査対象とします。対象疾患は限定しない予定です。

研究期間：委員会承認後～2023年4月1日

本研究の意義：

患者さんの要因から患者さんごとに適したサイズの気管チューブを予め予測し選択することは重要であると考えます。

本研究での評価項目

CT画像のデータから、気管の径を測定します。さらに、診療録から年齢、性別、身長、体重、既往歴、現病歴の情報を得る予定です。

本研究への参加と個人情報保護

この研究へ情報を提供したくない場合は下記までご連絡下さい。

本研究への情報提供を拒否されてもなんら不利益は生じません。

この研究に参加することで特別な謝礼金などの資金援助はありません。

学会論文発表は完全に匿名化してなされます（名前、ID、イニシャル、生年月日等の個人を特定できる情報は記載されません）。

症例の個人情報は匿名化されますので、個人情報が漏洩することはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

担当者所属：広島大学病院 麻酔科

研究責任者：教授 堤 保 夫

研究担当者：助教 三 好 寛 二

連絡先電話番号：082-257-5267